

中国事業2024年まとめと 2025年展望

中国プロジェクト
執行役員
ゆ しん けつ
愈 箴 潔



2024年の中国経済の下支えされている基幹産業は輸出と製造業投資であり、好調な輸出に引っ張られて、国营、中央企業の生産は比較的に堅調に移ってきた。アメリカ大統領選挙や日本の政局の変化が全て経済や関税、貿易協定と関連されている。京二の中国事業は日本への輸出、中国国内日系企業と関係し、激動している経済環境の中で顕著な影響を受けている。

2024年中国事業業績まとめ

中国製品は2024年度全社売上5億円であり、去年より売上微増。期待された大きな躍進を実現できなかった。外部要因としては長期化される円安の影響で製品の収益性減少と燃料系自動車中国での生産減による結果。しかし、自動車以外の半導体関連、新エネルギー産業、金型業界の新規開拓ができ、新しい工具セクターを形成することによって、2025年で2割アップの目標を設定。

・京二上海の業績について

2024年度売上予測970万元、粗利益133万元、減収減益の残念な結果になった。通年に渡って円安による利益率の圧迫、収益改善に難しい局面と認識している。半導体業界向け、新エネルギー業界向けの新製品、新機種開拓することによって業績改善を目指す。

JIMTOF2024への参加後、積極的にお客様開拓に力を入れている。今まで中国工具の取引方法を知らなかったお客様が興味を持ち、開催後のフォローやサンプルテストに迅速に反応するお客様が多数いらっしゃって、特に電子機器や半導体の微細加工用ドリルについてお客様から質問、見積依頼が多く、まだまだお客様の海外調達ニーズに応えられると感じている。商品について従来の株州工具のエンドミル、ドリル、インサート製品以外、研磨砥石、コンクリート向け砥石、ダイヤモンドマイクロドリル、CBNインサートなど弊社重点製品へ関心を示し、商機を結び付けている。特殊工具メーカーの上海ゾロン、半カスタマイズ製品メーカーの上海タイフン社の新規参入によるハイス工具の提供も可能になった。より幅広い業界のお客様へ工場用製品を供給することによってサービス向上に重点を置く。

日本国内のインフレによる物価上昇が続いている中、お客様のニーズのある、競争力の強い製品群を開拓、日本で販売促進スピードを加速させ、お客様満足度アップを図りたい。